



## 全国骨髓バンク推進連絡協議会 役員の紹介

過日の通常総会にて2023年度までの2年間の役員が決定し、7月11日(日)に開催した新体制での初の理事会では、役割分担などを決めるなど全国協議会の患者支援活動のさらなる充実、発展に向けて役員一同決意を新たにされたところです。新しく理事になった方々に自己紹介をお願いしました。



いとかず みちこ  
**系数 美智子**

新理事に就任させていただきました  
「沖縄県骨髓バンクを支援する会」の系数美智子です。1959年4月生まれの62歳です。

1994年6月に慢性骨髓性白血病を発症し、翌年に骨髓バンクを通してドナーさんから新しい命をいただき8月で26年になります。

今、ふり返りますと、私は強運でした。当時、設立まだ浅い骨髓バンクで

HLAの型がピッタリ一致したドナーさんがすぐに見つかり、その方が提供してくださり、移植後も順調な回復でした。退院後、ドナーさんには一度だけ手紙で感謝の気持ちを伝えました。この26年の間に新たなチャレンジのたびに「ドナーさん、ありがとう!」という気持ちでいっぱいになります。

私は両耳が高度難聴のためドナー登録会の説明のお手伝いはできないのですが、普通の生活を取り戻した元患者として今、悩んでいる患者さんのお力になれたらうれしく思います。よろしく願いいたします。



たての もりお  
**館野 守男**

埼玉骨髓バンク推進連絡会より推薦を受け、全国協議会の理事に就任させていただきました館野守男と申します。

私は元患者として、1993年に慢性骨髓性白血病(CML)を発病し、1994年に弟より骨髓移植を受けました。たった一人の兄弟と奇跡的にHLAが適合しましたが、適合するご親族がいない患者さんが多数を占めるという現実を知り、骨髓バンクの役割の大

きさを痛感しました。

私は全国協議会に関わるのは2回目で、1回目は1999年度に埼玉からの派遣で事務局員をさせていただきましたが、当時はNPO法人化していない任意団体でした。今回就任させていただきましたNPO法人である当協議会の理事という責任は、重く受け止めている次第です。

本業(サラリーマン)の方も忙しいですが、患者さんの困り事を常に見極め、できる範囲で患者さんのお役に立ちたいと考えております。何とぞよろしく願い申し上げます。



はっとり まさき  
**服部 真樹**

この度、新理事に就任させて頂きました岐阜県在住の服部真樹と申します。よろしく願いいたします。私は2012年に急性骨髓性白血病を発症しました。当時はマラソン大会に出るため毎日数キロ走るほどの体力がありましたが、東京出張中の電車の中で極度の貧血になりました。出張先の病院で検査してもらい、その場で白血病であることを伝えられたあの衝撃は今でも鮮明

に覚えております。入院中は抗がん剤治療、再発を繰り返し、発症から3年目に骨髓提供を受けました。私は運良くドナーが見つかり元気で過ごしていますが、今も白血病で苦しんでいる方が多くいらっしゃいます。骨髓提供を受けられるという『生きるための希望』を一人でも多くの方々に与えられるよう、全国のボランティアの皆様と精一杯頑張っていきたいと思っております。至らぬ点多々あるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

役員名簿 (2021年7月~2023年6月)	
役職	氏名
会長	仲田 順和
	渋谷 俊徳
副会長	大谷 貴子
	野村 正満
	田中 重勝
理事長	梅田 正造
	村上 忠雄
副理事長	山村詔一郎
	若木 換
	浅野 祐子
	系数美智子
理事	北折健次郎
	菅 早苗
	館野 守男
	畠山 茂房
	服部 真樹
	山崎 裕一
	山口 明大
	一樂 邦彦
監事	黒部 光司

顧問	
岩城 光英	
岡村 正	
鎌田 薫	
谷口 修一	
東井 朝仁	
陽田 秀夫	

### 患者支援基金の申請様式を改定しました

本年4月1日から国の事業として、がん患者さん等の妊孕性温存費用の助成が始まり、対象となる患者さんは所得制限や居住地による区別なく、公的助成が受けられることとなります。

これに合わせ、当協議会が運営する妊孕性温存費用の助成基金である、このとりマリン基金(卵子保存)・志村大輔基金(精子保存)の申請・提出書類の様式を改定いたしました。助成上限額などの変更はありませんが、都道府県への申請を行ってなお、ご負担が残った費用を申請いただけます。

また、志村大輔基金(分子標的薬支援)、佐藤さち子記念造血細胞移植患者支援基金についても申請書類・提出書類の様式を改定しました。各基金の詳細・申請書等はホームページ又は当協議会事務局までお問い合わせください。

(基金申請には収入条件がありますのでまずはご確認ください。)

## 聖火ランナー「みんな繋がっているんだ」④ 最終回

3月25日(木)に福島県「Jヴィレッジ」をスタートした聖火リレーは47都道府県を121日かけて国立競技場まで繋がれ、7月23日(金)東京2020オリンピックの聖火台に点灯されました。聖火ランナーの中には様々な想いを胸に走られた血液疾患の患者さん・血液内科医などもおられ、4号にわたりご寄稿頂きました。最終回となる今号では静岡県を走った後藤菜都美さん、トリとして大谷貴子全国協議会副会長の想いをお伝えします。

### 6月23日(水) 静岡県島田市



6月23日(水)に静岡県での聖火リレーに参加をさせていただきました。コロナ禍でどのようなモチベーションで走ったら良いのか戸惑いました

が、いざ現場に立ってみると、沿道の皆さまからたくさんの笑顔と応援を頂き、純粋に感謝と共に楽しんで走ることができました。

私は17年前に急性骨髄性白血病と診断され、バンクドナーさんから移植を受けました。退院してからは、ドナーさんへの感謝を行動で示していこうとボランティアに参加するようになりました。少しでも多くの方に骨髓バンクについて関心を持っていただきたい、という思いで今回の聖火ランナーに応募しました。

私の住む静岡県はドナー登録者数が全国の中で一番低い状況です。移植を

して元気になった姿を示すことで、私のように元気に生きている元患者さんがたくさんいることを知ってもらい、骨髓バンクについて考えるきっかけになってくれたら本当にうれしいです。

コロナウイルスの心配や、3年前に発病した悪性リンパ腫の治療後の影響を考えると、以前のようなボランティア活動ができないことがすごくもどかしいです。とはいえ、私自身は元気なので、聖火リレーで頂いたあたたかい応援を忘れずに、感謝と共に微力ですが活動をしていこうと思います。

(静岡県骨髓バンクを推進する会  
後藤菜都美)

### 7月7日(水) 埼玉県加須市



7月7日、東京オリンピックの聖火リレーとして公道を走ることができた最後の日、私は、住み慣れた街・埼玉県加須市を走ることができました。コロナ感染拡大に鑑み、東京オリンピック・パラリンピック開催を決して歓迎できないムードの中での走行に、一時は「辞退」を考えたこともありました。しかしながら、京大病院での主治医・直川先生(4月10日に聖火ランナー)、名大病院での主治医・北折先生(4月25日に聖火ランナー)から引き継がれているトーチの火を他の人に託すこともしたくない、という思いが強く、両先生をはじめ、私を助けてくださっ

た先生方や医療スタッフの方々への感謝をこめて、走ることを決めました。

その上、折角なら“骨髓バンク”を全世界に知っていただく、埼玉のボランティアさんに3枚もの横断幕を掲げてもらいました。当日夜のNHK・東京2020オリンピック聖火リレーデイリーハイライトの中では、なんと！ランナーは追いかけて(笑)、「骨髓バンクをよろしく」と書かれた横断幕のところでほんの数秒ではありましたが、カメラが止まってくれていました。

当日、自分の中で決めていたことは、「笑顔」「トーチは右手でピシッと真上に」「左手は、感謝の意をこめて高く振る」の三つでした。地元を走らせてもらい、多くの知人・友人の顔が見えると自然に「ありがとうございます」「ありがとうございます」と言葉が出てきて、笑顔になりましたが、その内、ストーリーミングで見てくださっているであろう今まで私を助け、支えてくださった多くの方々への「ありがとうございます」「ありがとうございます」

ます」も重なり、心からの笑顔で走り切り、心から感激をしたトーチリレーを経験させていただきました。

7月16日にここまで書き、そして、本日は、7月26日です。昨年の8月から相談に乗っていた患者さんから連絡を受けました。8月中旬にドナーさんからの骨髓移植が決まりました！と。

先月の初めぐらいから患者さんの病状悪化もみられ、何度も何度も患者さんのお気持ちを聞いていました。なかなか決まらない骨髓移植の予定。いや、そもそも骨髓移植にこぎつけるのかという不安とともにイライラをぶつけられることもありました。しかし、私にはどうすることもできません。そんな中、7月7日のNHK聖火リレーデイリーハイライトを見て、骨髓バンクの横断幕に感動し、そして、私のインタビューでの発言。「きょうを信じて生きてもらえれば、必ずあしたが来る。あしたを信じたら、あさってが来る」を肝に銘じ、落ち着いてみようと思った…ら、ドナーさんの快諾と日程の決定を得ました！と。

とても嬉しい報告でした。皆様、本当にありがとうございました！

(副会長 大谷貴子)



福岡

### 正力厚生会 二度目の受賞

血液疾患を考える患者・家族の会「リボンの会」は、公益財団法人正力厚生会の2021年度がん患者団体助成事業の助成金交付団体に選ばれました。福岡から2団体が選ばれ「リボンの会」は2回目の栄誉の受賞となりました。

読売新聞に取り上げられて、各地から「受賞おめでとございます」のメールをいただきました皆様に感謝申し上げ

げます。中でも「長い間の活動が評価されて良かったです」の言葉が胸にすんと落ちて、皆さんと分かち合えたことで受賞の喜びが増しました。と同時に、患者さんはコロナ前から自粛生活を強いられており、より所であるべき「リボンの会」は思うような活動ができず、閉塞感が漂っている高齢者や孤独に過ごす患者さんの声なき声が聞こえてくるようです。

コロナ禍で当会ができることは少なく、全国の患者さんやご家族に福岡の「リボンの会」を知ってもらい「ひとりじゃないよ」と伝えることと「リボンの会」の特質を生かした講演会や交流会の数を増やし参加しやすくするた

めに、交流会を定例化し毎月開催することを決めました。オンラインにはオンラインの良さがあり、オフラインにはオフラインの良さがありますからコロナが収束した後もオンとオフを使い分けながら講演会や交流会を続け「みんな、側にいるよ」と伝えたいと思います。

又、「リボンの会」では今、AYA世代の会員が「がんサバイバーのための美容室マップ」を企画しています。しかし、「リボンの会」だけでは力不足ですので皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

(血液疾患を考える患者・家族の会  
「リボンの会」宮地里江)

### 支援者をお訪ねして (株式会社マルト様)



(左から)梅田、阿部課長、石山常務、安島社長、岩城顧問、陽田顧問

7月20日(火)、募金箱を多数設置して下さり、募金のご寄付を毎月頂戴している株式会社マルト様の本社(福岡県いわき市勿来町)を柴山事務局長と訪問しました。いわき市在住の当協議会の岩城光英顧問(元法務大臣)、陽田秀夫顧問にもご同行頂きました。

同社は明治25(1892)年に創業し、昭和39(1964)年10月に現会社が設立され、スーパーマーケットのチェーン化を展開されました。今年57周年を迎えます。1964年と言うと前回の東京オリンピックの年です。以降事業内容を拡大し現在は生鮮食品・加工食品・雑貨・衣類・一般薬品の販売、調剤薬局を扱う7つの企業のグループ会社となり総従業員は4,930名(正社員980名、タイム社員1,300名、アルバイト2,650名)です。

最寄りの常磐線の勿来駅から同社までは2~3km、車で5分程の道程でし

たが、いたるところにマルト様関係のスーパー、薬局、高齢者施設などがあり、広く地元根付いた企業であることが良く分かりました。いわき市のほかに隣県の茨城県にも多数の店舗を展開しています。

本社会議室で株式会社マルトグループホールディングス代表取締役社長 安島浩様、常務取締役本部長 石山伯夫様、募金箱の新ご担当の株式会社マルト商事業務部担当課長 阿部豊様に面会しました。冒頭両顧問の挨拶の後、私からご寄付のお礼と当協議会の2020年度活動及びご寄付の具体的な活用内容についてご説明するとともに、今後のご支援ご協力をお願いしました。その後、質疑、情報交換をしました。

安島社長からマルトグループの従業員の中には血液疾患から快復し職場復帰されている方が1名、現在闘病中の方が1名おられることを、また、マルト様では現在コロナワクチンの職域接

種を実施中であることを伺いました。40分で90人の接種を完了するシステムとなっているとのことでした。国内でもあまり進んでいない職域接種を早期に実現されたことに、組織力が優れていると感心しました。

訪問前に同社のホームページで、社会貢献、食育活動に大変力を入れていることを知りましたが、帰りに安島社長から廊下の壁に掲示されていた多くの活動写真の中から食育イベントについてお話を伺いました。楽しそうに親子がお弁当を作る姿にほのぼのとなりました。

今回の訪問は、募金を頂いている企業様の活動を知ると共に、企業様に当協議会の活動にご理解を頂き、寄付をどのように活用しているのか知って頂く上で大変良い機会となりました。お忙しい中時間をくださり、大変感謝しています。

(副理事長 梅田正造)

### 心からのご寄付に感謝申し上げます ●6月21日~7月20日(敬称略)

<p>●一般</p> <table border="1"> <tr><td>今村 まさ子</td><td>現金</td><td>200,000円</td></tr> <tr><td>藤波 敬子</td><td>現金</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>飛田 行康</td><td>現金</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>塩谷 泰人</td><td>現金</td><td>1,000円</td></tr> <tr><td>兼元 亨</td><td>現金</td><td>1,000円</td></tr> <tr><td>匿名</td><td>現金</td><td>20,000円</td></tr> <tr><td>匿名</td><td>現金</td><td>3,000円</td></tr> </table>	今村 まさ子	現金	200,000円	藤波 敬子	現金	10,000円	飛田 行康	現金	10,000円	塩谷 泰人	現金	1,000円	兼元 亨	現金	1,000円	匿名	現金	20,000円	匿名	現金	3,000円	<p>●佐藤さち子造血細胞移植患者支援基金</p> <table border="1"> <tr><td>公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構</td><td>現金</td><td>24,178円</td></tr> <tr><td>兼元 亨</td><td>現金</td><td>1,000円</td></tr> <tr><td>小野塚 照直</td><td>現金</td><td>10,000円</td></tr> </table> <p>●志村大輔患者支援基金</p> <table border="1"> <tr><td>アオヤマ ナナ</td><td>現金</td><td>1,000円</td></tr> </table> <p>●募金箱</p> <table border="1"> <tr><td>株式会社クスリのアオキ</td><td>現金</td><td>1,723,519円</td></tr> </table>	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構	現金	24,178円	兼元 亨	現金	1,000円	小野塚 照直	現金	10,000円	アオヤマ ナナ	現金	1,000円	株式会社クスリのアオキ	現金	1,723,519円	<p>株式会社マルト商事</p> <table border="1"> <tr><td>現金</td><td>66,708円</td></tr> <tr><td>設計工房夢家</td><td>現金</td><td>3,000円</td></tr> <tr><td>骨髄バンク GATHERの会</td><td>現金</td><td>1,235円</td></tr> <tr><td>奥嶋クリニック</td><td>現金</td><td>5,005円</td></tr> <tr><td>●つながる募金</td><td>現金</td><td>15,500円</td></tr> <tr><td>●キモチと。</td><td>現金</td><td>3,020円</td></tr> </table>	現金	66,708円	設計工房夢家	現金	3,000円	骨髄バンク GATHERの会	現金	1,235円	奥嶋クリニック	現金	5,005円	●つながる募金	現金	15,500円	●キモチと。	現金	3,020円
今村 まさ子	現金	200,000円																																																					
藤波 敬子	現金	10,000円																																																					
飛田 行康	現金	10,000円																																																					
塩谷 泰人	現金	1,000円																																																					
兼元 亨	現金	1,000円																																																					
匿名	現金	20,000円																																																					
匿名	現金	3,000円																																																					
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構	現金	24,178円																																																					
兼元 亨	現金	1,000円																																																					
小野塚 照直	現金	10,000円																																																					
アオヤマ ナナ	現金	1,000円																																																					
株式会社クスリのアオキ	現金	1,723,519円																																																					
現金	66,708円																																																						
設計工房夢家	現金	3,000円																																																					
骨髄バンク GATHERの会	現金	1,235円																																																					
奥嶋クリニック	現金	5,005円																																																					
●つながる募金	現金	15,500円																																																					
●キモチと。	現金	3,020円																																																					

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754 普通 5666655

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会